

3 目的・場面・状況の設定(日常生活との関連)

英語の「音」と「意味」に加えて、実際の場面で「こうやって使うのか」と体感し、「使い方」について学習することが大事です。

4 指導体制の強化

英語教育の早期化・教科化によって、より確かな英語指導力専門性が必要です。

5 多様性や異文化理解に基づく積極的な態度の育成

日常的に異文化や異文化をもつ人に触れたり、自国の文化やアイデンティティーを認識したりする機会が必要です。

6 大学入試、就職等で英語を「話す」力が求められる

4技能5領域をバランスよく育成することがさらに問われるとくに「話すこと」に関する力の育成が求められています。